



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

やらまいか

クラブテーマ：みんな仲良く!地域に、地球に奉仕しよう!

会長/林 博宣 幹事/小田伊佐浩 会報委員会/青谷友章・大仁孝泰 例会/毎週火曜日 12:30 豊川商工会議所
事務局/豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 FAX0533-86-8889 HP: <http://toyokawahoi.tank.jp/>

本年度第4回 通算1643回 2021年7月27日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	7/13 修正出席率
		71名	39名	60%	77.9%

ゲスト:(なし) ビジター:長野敏行さん(西尾 KIRARA)

★会長あいさつ

林 博宣会長



こんにちは。暑い中、例会にご出席ありがとうございます。

昨日、鈴木新世代委員長、土井クラブ戦略委員長、事務局と一緒に市内の3高

校を訪問して、毎年行っている高校生のボランティア活動支援金を届けてきました。学校の職員室は冷房が効いていますが、通された部屋は冷房がなくて、たくさんの汗をかいたせいか、家に帰ってから熱中症のような感じでした。皆さんも暑さ対策を充分にやって頂くようお願いいたします。

1年遅れで始まった東京オリンピックですが、国立競技場の設計問題から始まり、ロゴの盗作、森大会委員長の辞任、直前での演出音楽担当者の辞任と解任などありましたが、メダルの数が増えるにつれて盛り上がってきています。前回の開催は1964年で、私が6歳の時でした。東洋の魔女と呼ばれた女子バレーボールチーム、裸足でマラソンを走ったアベベ選手の記憶が微かに残っている程度です。あれから57年、世界14都市を巡り東京に再び戻ってきました。あの頃のように日の丸を振ってしっかりと応援をしたいと思います。

特に私が注目しているのは、ゴルフと男子テニスです。数年前から錦織選手のファンになりまして、前回のリオオリンピックではナダル選手を破って銅メダルを獲得しました。その後にケガもあり、思うようなプレーが出来ていませんが、今回のオリンピックをきっかけに、また以前ような活躍を見せてほし

いです。

そして、8月24日から始まるパラリンピックには、8月10日の例会にお越しいただく蒔田選手が陸上の10000mに出場されます。こちらもしっかりと応援していきたいと思っています。

本日の例会のプログラムは、青谷会員の新人会員スピーチです。坂口会員同様、1年以上お待たせを致しました。青少年奉仕の担当例会がコロナの関係で変更になったために、本日のスピーチになりました。宜しくお祈りします。

来週8月3日は、ガバナー補佐訪問例会があります。8月24日は、ガバナー公式訪問合同例会が当クラブのホストで開催されます。本年度の地区ガバナーは、行動方針の1つに「コロナゼロ・カーボンゼロ支援」があります。カーボンゼロ支援は、2015年パリ協定で合意がなされた2050年までに温室ガス排出実質0を見据えた活動です。すでに一部の企業では、期限を前倒して段階的に削減をしようとする取り組みが始まっています。現在、地球上において、CO2の年間排出量は72億炭素トンです。それに対する年間吸収量が、31億炭素トンだそうです。排出と吸収をプラスマイナスして実質0にする取り組みがカーボンニュートラルです。最近では、コロナ感染防止対策にCO2センサー設置をするお店が増えています。濃度が上がると換気をしたり、お店の入店人数の制限をしているようです。

私の中で徐々にコロナゼロ、カーボンゼロ支援が、今の時代に即した活動に思えるようになってきました。ガバナー公式訪問のガバナーの卓話でも説明があると思います。ぜひ例会へのご出席をお願いします。宜しくお祈りします。

★幹事報告

小田伊佐浩幹事

例会臨時変更のお知らせ

8月3日のガバナー補佐訪問について

★委員会報告

雑誌広報委員会 早川委員長

ロータリーの友7月号の紹介

★新入会員スピーチ

青谷友幸会員



皆様、こんにちは。新入会員の卓話ということなので、自己紹介をします。1975年9月1日新潟市生まれです。その後、豊川

の地で育ちました。社会人1年生から名古屋市内のゼネコンに勤めておりました。30歳になる時に豊川市に戻り、家業につきました。

私の会社は青谷公營といえます。土木建設業をおこなっています。社名が「青谷」に「公」に「營」と書きますので、公の機関のような名前ですが、民間の土建屋でございます。

私の誕生日が9月1日で、9月1日は防災の日です。防災の申し子のような日の生まれました私としては、防災と社会奉仕についてお話しさせていただきます。

今も防災活動に携わることが多くあります。防災ボランティア・コーディネーターや防災講習でファシリテーターをやったりしています。今度、豊川東部中でPTAとおやじの会を対象に防災講習をやるので、昨日は防災センターに行って打合せをしました。防災の日に生まれていますが、防災の為に生きると言って生きてきたわけではありません。

防災という視点を持つようになったのは、青年会議所での防災活動がきっかけです。豊川に戻ってきから、地元との繋がりを持つために青年会議所に入会をしました。あまり積極的に地域の為に何かをしようとかもなく、青年会議所の活動にも積極的に参加もありませんでした。

2010年に豊川の手筒祭りの時に、次年度理事長になる予定の田中健司さんの前を通りかかったら、

愛知ブロックの方に出向してみないかと言われてまして、2011年に愛知ブロックに出向させて頂きました。2011年は選挙の年で、公開討論会をサポートする担当のところに出向しました。また、愛知ブロックの防災担当にもなりました。愛知県の防災担当なので、そのまま日本青年会議所の方の防災系の委員会にも出向することになりました。これは酷い貧乏くじだと思いつつながら、出向したのを覚えています。ですが、実際に参加してみると、思ったほど大変なことはなく、楽しく参加をさせてもらいました。

2011年3月11日14時46分に東日本大震災が発生しました。この時、現場でコンクリートの打設をしていたのを覚えています。大きな地震であることは体感でもわかりました。その後の報道でも大きな地震だと分かりました。JCの災害担当にはマニュアルがあるから何とかかなと思っていました。実際にマニュアルにそって連絡を取り合うことは直ぐに出来ました。しかし、具体的に一体何をしたら良いのかという事に関してはマニュアルには定められておりませんでしたので、何をしたら良いのかと、戸惑うのと同時に、自分が防災担当者であったのに、マニュアルの読み込みもしてなかったし、当事者意識もなく、何かどこか他人事のような感じで役を引き受けていたのかと思知らされました。

実際に災害が起きた後に、災害支援の為に各所が動きます。愛知県の方に、防災のための愛知県ボランティア連絡会というがありました。社協や日赤、国際交流会など、県内の主だった団体が防災の為に連絡を取り合うという会です。年に数回しか集まらないような連絡会でした。災害が起きる前に何回か集まる機会があって、話し合ったりはしていました。それぞれのボランティアの体制は素晴らしいけど、横のつながりで何か助け合おうと言うような事ありませんでした。実際に東日本大震災の時には、災害の規模も大きく、被害も深刻ということで、自分たちだけでは何もできないことを思い知りました。その後は、自分たちが出来ることを考えて、何か協力できることがないかなど、お互いに協力を求めあう体制になりました。

生まれて初めて2か月間、ほぼ自分の仕事を何もせずに、災害支援活動をしたという時期がありました。人の為に2か月も無給で働くという事、無給どころかお金を出して東京まで行って、ボランティアをして帰ってくるということが、自分の身におこる

のかと当時は思っていました。そのぐらいのことをしても自分たちには何も出来てないという罪の意識に似たような、何か追いやられるような、そんな気持ちでボランティア活動をしていました。

東京で何をしていたかという、日本青年会議所の中で支援活動の回収や集計、ニーズを調査して送り先を決めたりしていました。他の団体との調整、募金の集計をしていました。

災害支援自体は、直ぐにできなかったこと、その後に努力して出来るようになったこと、今後もやらなければいけないこと、色々と自分なりに思うところがありました。そのことについて周りの人や後輩に、若干押しつけがましく話をしました。

2011年の年末になると「忘れない2011」とかキャンドルをどこかのイベント会場で灯してみたりとか、どこかの広場で歌を歌うなどの活動を見て、なんて生産性のない活動なのかと当時は感じていました。あれだけなことがあったのに、簡単に忘れるわけがないと自分の中ではそう思っていました。例えば世間の人忘れかけたとしても、これだけのことをやったのだから、これだけの情熱で活動をしたのだから、自分は忘れないだろうと感じていました。ですが、残念なことに日に日にその時の情熱も忘れていきます。当時のノートを見てみると熱いつて思うぐらいです。その時の熱い情熱は、その時だけなんだと思いました。

災害支援は一時的に物を送るとか、誰かを助けることだけではないです。自力で早く復興する人、なかなか復興が出来ない人、社会との繋がりが切れて復興する気力がなくなった人、色々な人がいます。そのような中で、支援活動を長く続けていくと、普段から自分たちが気づいているけど、目をつむっている社会問題が災害によって顕在化するということが、災害支援が長く続く要因なのだと感じました。発生当初は、もし自分に凄い力や財力、太いコネクションがあれば、もっと有効な支援ができるのにと傲慢な気持ちがあったように思います。今も大きな災害がいつ起こるか分からない状況で、専門家でもない一般市民の私が感じるのは、人を支援していくということは、自分がしなければ成立しないようなものではなく、誰でもできる活動、誰もが協力できるような活動に気軽に参加していくと災害支援が継続していくと思います。

ロータリークラブの皆さんは、この地域において企業を営んでいます。防災訓練、非常時の備蓄、地域と協力して企業防災に取り組んで頂ければ、一層

災害に強い街になると思います。

私自身は、飲みに行ったり、ゴルフをやったりなど、みんなで楽しくやる活動に参加できないこともあるかもしれません。ですが、何か活動するから手伝ってと言われれば、参加をしますので、豊川宝飯RCを通じて、人生を豊かにするための奉仕活動に取り組んでいきたいと思っています。今後とも宜しくお願いします。

★ニコニコボックス

長野敏行様 メーキャップさせていただきます
林 博宣会長 長野さんの来訪を歓迎して
青谷友章会員 卓話をさせていただきます
大仁孝泰会員 誕生日を祝って頂き
早川喬俊会員 "
山本博史会員 "

★国際ロータリーFacebook 紹介

国際ロータリー / Rotary Japan ✓
21時間 · 🌐

#平等 (Equality) と #公平 (Equity) の違いについて考えたことがありますか？こちらのイラストがわかりやすく説明しています。(出典：Interaction Institute for Social Change | Artist: Angus Maguire) #DEI #インクルージョン